



## 平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月14日

上場会社名 富士精工株式会社  
 コード番号 6142 URL <http://www.c-max.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 森 誠  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 鈴木 龍城  
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名

TEL 0565-53-6611

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	13,114	1.4	571	△35.1	997	△3.8	724	△6.6
25年2月期第3四半期	12,935	12.0	880	83.5	1,036	100.0	774	110.5

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 1,462百万円 (50.8%) 25年2月期第3四半期 969百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	38.50	38.26
25年2月期第3四半期	41.02	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第3四半期	21,121	15,058	65.5	798.52
25年2月期	19,685	13,704	64.3	674.02

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 13,831百万円 25年2月期 12,667百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年2月期	—	3.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,140	1.1	830	△19.8	1,180	△11.7	910	△22.5	48.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期3Q	21,533,891 株	25年2月期	21,533,891 株
26年2月期3Q	2,710,113 株	25年2月期	2,740,741 株
26年2月期3Q	18,806,818 株	25年2月期3Q	18,892,177 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新興市場の継続的な成長や米国経済の回復傾向が見られた一方で欧州市場では停滞感が見られたなど、地域によって景況感に違いが見られた状況にありました。

また、わが国の経済は、政治主導による経済政策を背景に、円高是正や株価上昇が進み企業収益が改善するなど、全体としては緩やかな景気回復となりましたが、原材料価格の上昇や消費増税に対する不安感など、依然として先行きの不透明感は払拭されておりません。

当社グループの主要な取引先であります自動車産業界におきましては、生産の回復基調が鮮明となり、円安の影響もあって業績は堅調であります。

しかしながら生産活動の海外シフトは継続して進んでおり、国内生産の低迷といった構造的な問題により、将来への懸念材料も残されています。

こうした環境のもと、当社グループといたしましては、中期経営戦略に掲げた「特殊工具のオンリーワン・カンパニーとなる」「加工点まわりのトータル・エンジニアリング・カンパニーとなる」といったテーマのもと、取引先との取引深耕に努め、受注確保を図ってまいりました。

一方、利益面につきましては売上原価の増加などにより前年同四半期と比較して減少いたしました。

その結果、売上高は131億1千4百万円（前年同四半期比1.4%増）、営業利益5億7千1百万円（前年同四半期比35.1%減）、経常利益9億9千7百万円（前年同四半期比3.8%減）、四半期純利益7億2千4百万円（前年同四半期比6.6%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ①日本

自動車産業界における国内生産は堅調に推移いたしました。設備投資については慎重な状況が見られ、これにともない工具需要は鈍化いたしました。

その結果、売上高は78億4千6百万円（前年同四半期比6.5%減）となり、利益面につきましては売上原価の増加などにより、セグメント利益は2億5千6百万円（前年同四半期比54.7%減）となりました。

#### ②アジア

自動車産業界においては当セグメントにおける設備投資に一服感が見られ、工具需要は減少いたしました。為替換算の影響により、売上高は28億9千7百万円（前年同四半期比10.1%増）となりました。

利益面につきましては売上原価の増加などにより、セグメント利益は2億1百万円（前年同四半期比8.6%減）となりました。

#### ③北米・中米

自動車産業界における自動車生産の回復を受け、工具の需要が増加に転じてまいりました。

その結果、売上高は11億6千1百万円（前年同四半期比52.3%増）、セグメント利益は1億1千9百万円（前年同四半期比308.3%増）となりました。

#### ④オセアニア

豪ドル高にともなう国内製品の競争力低下、国内の小売業界不調等の影響を受け、当地域において販売しております住宅用断熱資材、バブルバック製品の需要は減少いたしました。

その結果、売上高は9億3千1百万円（前年同四半期比0.7%減）、セグメント損失は4千7百万円（前年同四半期は5千1百万円のセグメント利益）となりました。

#### ⑤その他

当セグメントにおきましては、売上高は2億7千6百万円（前年同四半期比32.6%増）、セグメント利益は1千1百万円（前年同四半期比412.8%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産は14億3千6百万円増加して211億2千1百万円となりました。

これは主に、現金及び預金が5億5千6百万円、有価証券が2億2千3百万円、投資有価証券が5億5千2百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

また、負債は前連結会計年度末と比較して、8千2百万円増加して60億6千3百万円となりました。

これは主に、賞与引当金が1億4千7百万円増加したことなどによるものであります。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して、13億5千4百万円増加して150億5千8百万円となりました。

これは主に利益剰余金が6億1千1百万円、その他有価証券評価差額金が1億3千5百万円、為替換算調整勘定が4億1千万円、少数株主持分が1億7千8百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

なお、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は65.5%となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期通期の業績予想につきましては、前回発表(平成25年10月11日付)の業績予想からの変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正にともない、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,357,837	2,914,373
受取手形及び売掛金	4,828,500	4,603,813
有価証券	701,175	924,540
商品及び製品	1,460,671	1,678,487
仕掛品	391,932	380,690
原材料及び貯蔵品	308,298	377,378
繰延税金資産	178,334	169,945
その他	146,590	241,987
貸倒引当金	△16,126	△13,843
流動資産合計	10,357,214	11,277,374
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,568,460	2,584,125
機械装置及び運搬具(純額)	2,852,488	2,915,285
土地	1,375,940	1,385,792
建設仮勘定	11,699	6,124
その他(純額)	177,051	162,288
有形固定資産合計	6,985,641	7,053,617
無形固定資産		
投資その他の資産	210,480	215,492
投資有価証券	1,898,190	2,450,730
長期貸付金	3,430	2,744
繰延税金資産	42,838	44,426
その他	222,627	112,347
貸倒引当金	△34,976	△34,976
投資その他の資産合計	2,132,110	2,575,273
固定資産合計	9,328,232	9,844,383
資産合計	19,685,446	21,121,758

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,035,615	1,140,679
短期借入金	743,146	790,460
1年内返済予定の長期借入金	705,798	671,310
未払法人税等	81,513	87,331
賞与引当金	119,164	266,546
繰延税金負債	1	—
その他	961,835	766,181
流動負債合計	3,647,075	3,722,510
固定負債		
長期借入金	471,516	501,589
繰延税金負債	91,108	123,335
退職給付引当金	1,559,968	1,544,147
その他	211,674	171,788
固定負債合計	2,334,268	2,340,861
負債合計	5,981,344	6,063,371
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,882,016	2,882,016
資本剰余金	4,165,413	4,164,398
利益剰余金	6,637,915	7,249,160
自己株式	△753,988	△745,515
株主資本合計	12,931,356	13,550,058
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	202,171	337,606
為替換算調整勘定	△466,477	△55,885
その他の包括利益累計額合計	△264,306	281,720
新株予約権	16,213	27,136
少数株主持分	1,020,838	1,199,470
純資産合計	13,704,102	15,058,386
負債純資産合計	19,685,446	21,121,758

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	12,935,703	13,114,226
売上原価	9,896,750	10,188,938
売上総利益	3,038,952	2,925,287
販売費及び一般管理費	2,158,202	2,353,811
営業利益	880,750	571,476
営業外収益		
受取利息	46,248	21,904
受取配当金	12,722	12,683
持分法による投資利益	140,853	76,757
為替差益	—	195,019
その他	92,782	150,936
営業外収益合計	292,607	457,301
営業外費用		
支払利息	43,791	19,825
売上割引	16,021	7,581
為替差損	50,980	—
その他	26,093	4,301
営業外費用合計	136,885	31,708
経常利益	1,036,471	997,069
特別利益		
固定資産売却益	1,922	4,415
投資有価証券売却益	10,308	3,250
特別利益合計	12,230	7,666
特別損失		
固定資産除売却損	5,520	5,299
投資有価証券評価損	74,677	—
その他	21,497	—
特別損失合計	101,695	5,299
税金等調整前四半期純利益	947,006	999,436
法人税、住民税及び事業税	115,594	170,848
法人税等調整額	△6,712	7,559
法人税等合計	108,882	178,407
少数株主損益調整前四半期純利益	838,124	821,028
少数株主利益	63,175	96,957
四半期純利益	774,948	724,071



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	838,124	821,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,856	135,435
為替換算調整勘定	125,296	368,989
持分法適用会社に対する持分相当額	17,188	137,081
その他の包括利益合計	131,629	641,505
四半期包括利益	969,753	1,462,534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	923,473	1,270,098
少数株主に係る四半期包括利益	46,280	192,435

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	アジア	北米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	8,395,350	2,631,446	762,824	937,517	12,727,139	208,564	12,935,703	—	12,935,703
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,107,834	390,517	198	—	1,498,551	5,639	1,504,190	△1,504,190	—
計	9,503,185	3,021,964	763,023	937,517	14,225,690	214,204	14,439,894	△1,504,190	12,935,703
セグメント利益	567,086	220,276	29,183	51,983	868,530	2,160	870,690	10,059	880,750

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2 セグメント利益の調整額10,059千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	アジア	北米・中米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	7,846,798	2,897,705	1,161,924	931,233	12,837,662	276,564	13,114,226	—	13,114,226
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,295,638	534,592	1,363	—	1,831,595	6,147	1,837,743	△1,837,743	—
計	9,142,437	3,432,298	1,163,288	931,233	14,669,257	282,711	14,951,969	△1,837,743	13,114,226
セグメント利益又は 損失(△)	256,986	201,334	119,141	△47,868	529,593	11,079	540,673	30,802	571,476

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額30,802千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。
- (6) 重要な後発事象  
該当事項はありません。